

業績・企業情報

財政状態および経営成績等の分析 (MD&A)

経営成績

2023年度の経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

経営成績の分析

① 経営成績の状況

2023年度における世界経済は、株高などを背景とした好調な個人消費を中心に米国経済の底堅さが見られましたが、累積的な金融引き締めの影響などもあり、景気の減速が懸念されています。

また、日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、外食や旅行を中心に消費は回復したものの、エネルギーコストや原材料価格の高騰を背景とした物価上昇により全体として弱い動きとなりました。

このような環境下、当社グループは「もっとお客さまの近くで、多様な価値を創造し続ける企業グループに変革する」という基本方針のもと、中期経営計画「Value Up+」(2021年度-2024年度)に取り組んでいます。6つの重点領域で設定したCSV目標を成長ドライバーとして成長路線を加速させるとともに、“植物のチカラ®”を価値創造の原点に、社会との多様な共有価値の創造を通じた持続的な成長を目指しています。

当社グループは、株主資本コストを上回るROE水準の達成を重要な経営目標としています。2022年度にはROICを経営目標に加え、今まで以上に収益性と資産効率性の向上に取り組んでいます。また、「成長性」「積極投資」「持続性」「効率性」の4つの視点でKPIと実行施策をフレームワーク(「達成チャート」)で整理し、2024年度においてはROE8.0%以上、ROIC5.0%以上を経営目標とし、取り組みを進めています。

② セグメント別の状況

油脂事業(油脂・油糧、加工油脂)

油脂事業セグメントでは、油脂・油糧において天候不順による原料の減産懸念や円安ドル高の進行があるものの、原材料価格が一時期のピークから下落基調となるなか、適正な販売価格の維持・形成に取り組みました。また、付加価値品の拡販に加え、新たな市場創造やソリューション提案の強化に注力しました。この結果、油脂事業セグメント全体では、ミールの販売数量の減少、国内油脂および海外加工油脂の販売単価下落等により減収となりましたが、国内油脂における適正価格での販売等により増益となりました。

加工食品・素材事業

加工食品・素材事業セグメントでは、原材料価格やエネルギーコスト上昇の影響があったものの、チョコレート製品における販売数量増および適正な販売価格への改定により増収増益となりました。

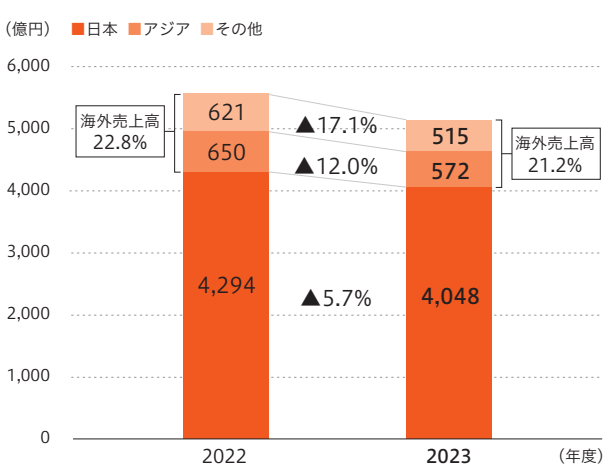
ファインケミカル事業

ファインケミカル事業セグメントでは新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、国内、中国市場での販売は好調に推移しました。一方、スペインのIndustrial Quimica Lasem, S.A.U.では、前期は新型コロナウイルス感染症対策緩和に伴う特需がありましたが、当期はその反動の影響が大きく、減収減益となりました。

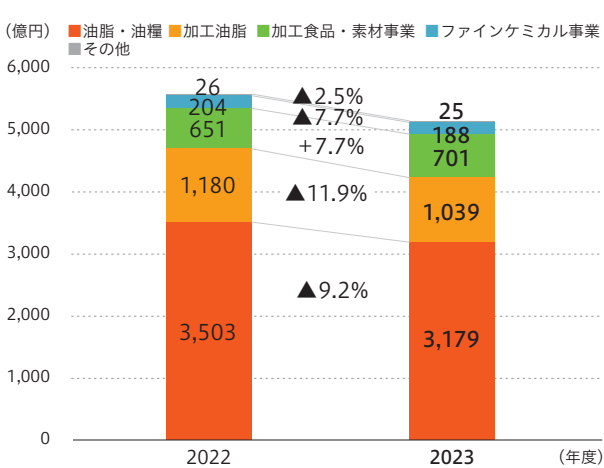
その他

情報システムをはじめその他の事業セグメントは、減収増益となりました。

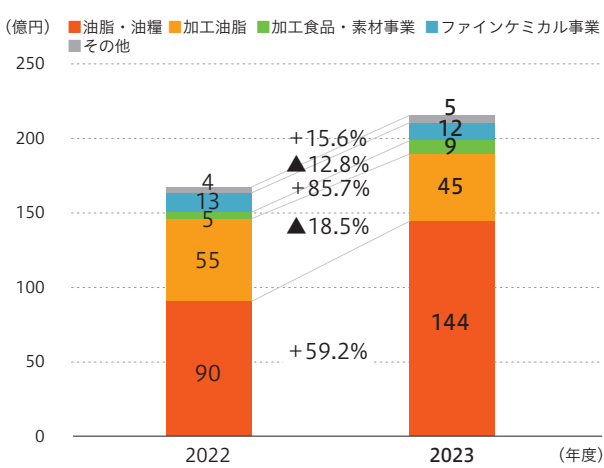
地域別売上高



セグメント別売上高



セグメント別営業利益



※セグメント間消去、調整を含まず

財政状態とキャッシュ・フロー

財政状態及び経営成績の状況

① 財政状態の状況

2023年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ189億29百万円増加し、3,933億82百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が73億97百万円、売上債権が23億48百万円、有形固定資産が40億84百万円、投資有価証券が121億58百万円増加した一方で、棚卸資産が84億26百万円減少したことです。

負債は、前連結会計年度末に比べ22億14百万円減少し、2,008億20百万円となりました。主な要因は、1年内償還予定の社債が100億円、未払金が31億73百万円、未払費用が16億31百万円、未払法人税等が11億88百万円、長期借入金が43億18百万円、リース債務が15億7百万円増加した一方で、仕入債務が32億89百万円、短期借入金が181億86百万円、社債が50億円減少したことです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ211億43百万円増加し、1,925億62百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が107億50百万円、その他の包括利益累計額が93億7百万円増加したことです。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、367億15百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益211億69百万円、減価償却費92億87百万円、棚卸資産の減少100億22百万円によるキャッシュの増加および売上債権の増加12億86百万円、仕入債務の減少42億74百万円、法人税等の支払50億25百万円によるキャッシュの減少です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、160億83百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出147億63百万円によるキャッシュの減少です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、145億86百万円の支出となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入50億64百万円、社債発行による収入50億円によるキャッシュの増加および短期借入金の純減186億53百万円、長期借入金の返済による支出9億47百万円、配当金の支払43億78百万円によるキャッシュの減少です。

設備投資と研究開発

設備投資の状況

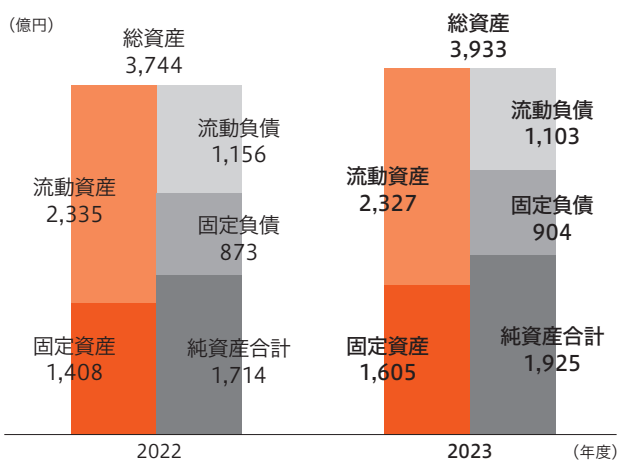
当社グループでは、事業構造改革を継承しつつ、より成長路線に軸足を移す、という基本方針に基づき、戦略性、重要性、緊急性に鑑み、投資採算を重視したうえで、油脂事業および加工食品・素材事業を中心に、191億13百万円の設備投資を行いました。油脂事業にお

研究開発の状況

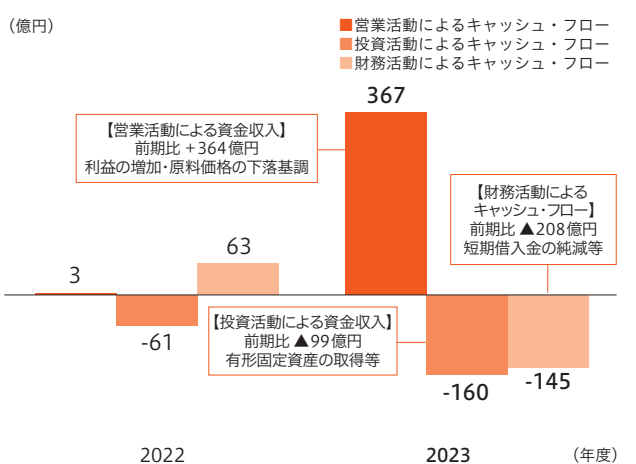
2023年度の研究開発費の合計は35億19百万円(2022年度は31億28百万円)であり、セグメント別の研究開発費の内訳は以下の通りです。

2023年度				
	油脂事業	加工食品・素材事業	ファインケミカル事業	合計
	23億32百万円	5億79百万円	6億7百万円	35億19百万円

総資産の推移

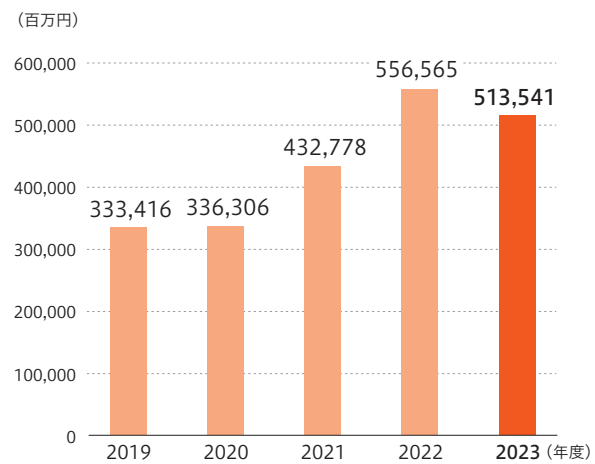


キャッシュ・フローの推移

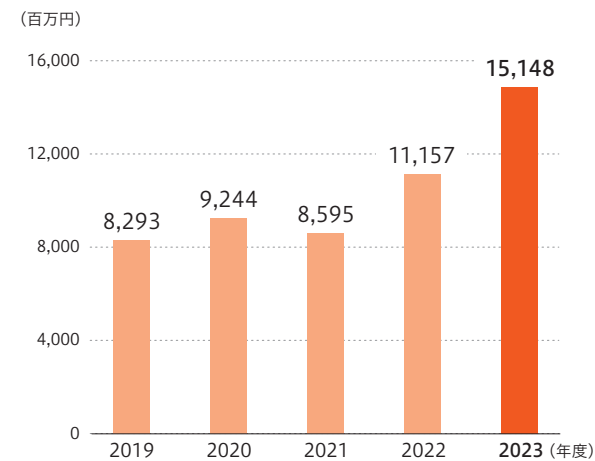


財務ハイライト

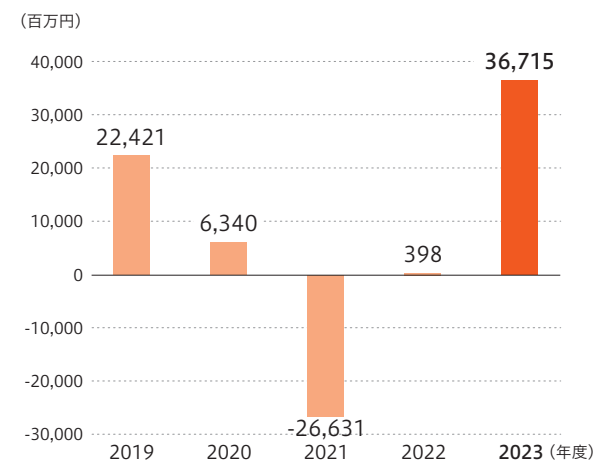
売上高



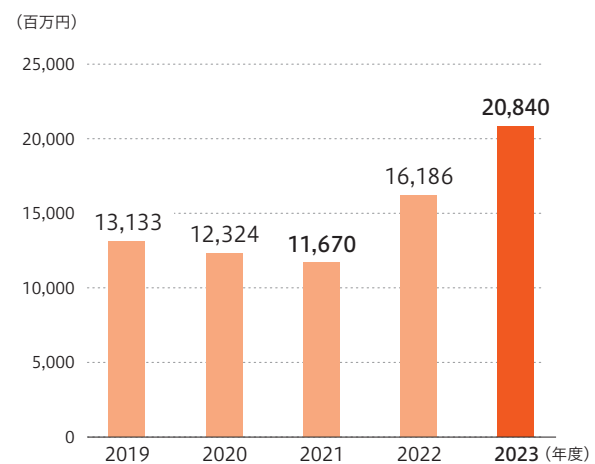
親会社株主に帰属する当期純利益



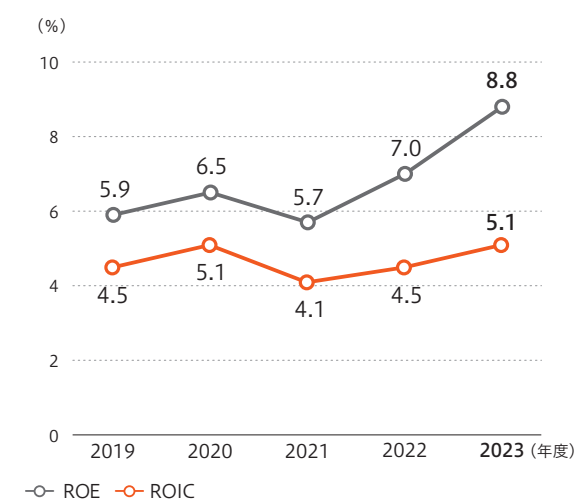
営業キャッシュフロー



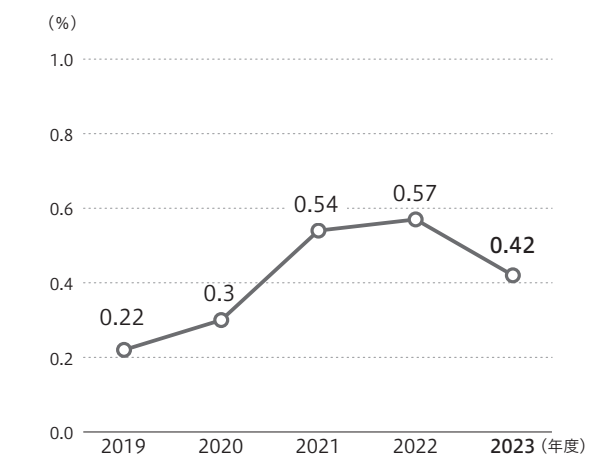
営業利益



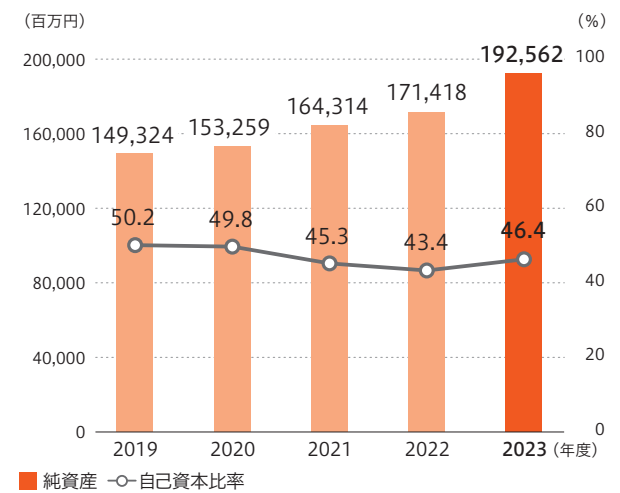
ROE／ROIC



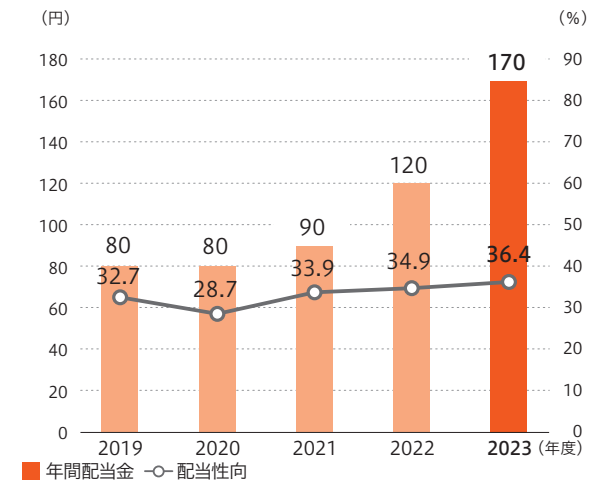
ネットD／Eレシオ



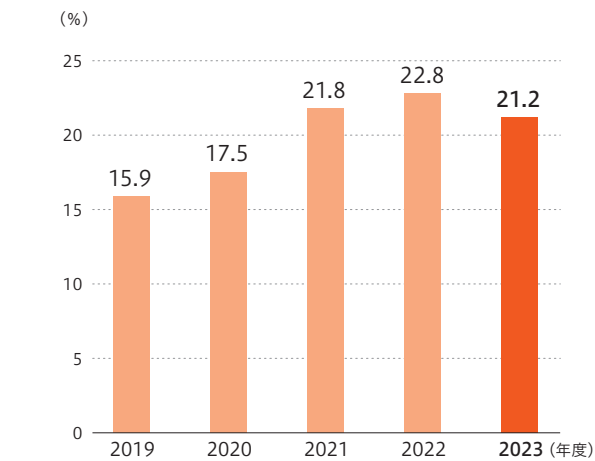
純資産／自己資本比率



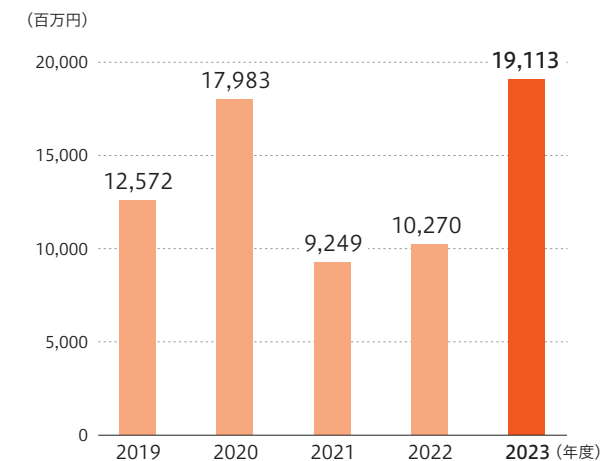
年間配当金／配当性向



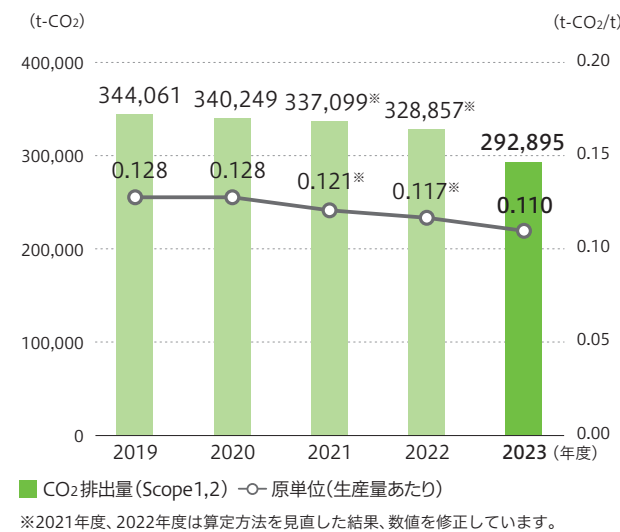
海外売上高比率



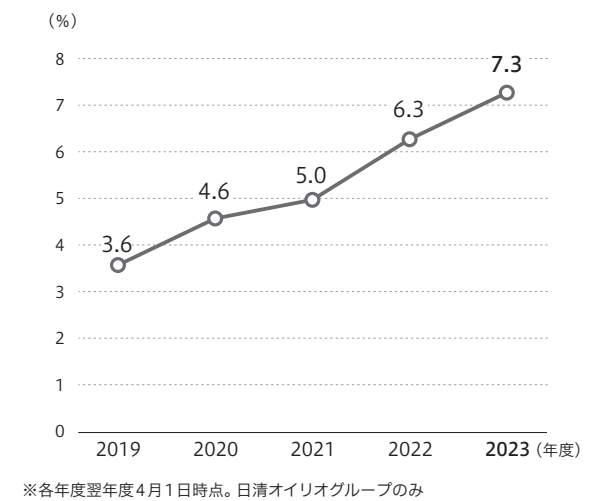
設備投資額



非財務ハイライト

CO₂排出量(Scope1,2)/原単位(生産量あたり)

女性管理職比率



非財務情報については、当社Webサイト サステナビリティデータ集を参照ください。
<https://www.nisshin-oillio.com/company/sustainability/report/data.html>



会社情報

会社概要

商号	日清オイリオグループ株式会社
本社	〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号
電 話	(03)3206-5005
資本金	16,332百万円(2024年3月31日現在)
売上高	513,541百万円(2024年3月期・連結)
従業員数	3,078名(2024年3月31日現在・連結)

国内事業所一覧

大阪事業場、横浜磯子事業場(横浜磯子工場)、名古屋工場、堺工場、水島事業場(水島工場)、
インキュベーションスクエア(研究所)、北海道支店、東北支店、関東信越支店、東京支店、東海北陸支店、
大阪支店、中四国支店、九州支店、盛岡営業所、郡山営業所、新潟営業所、長野営業所、首都圏営業所、
静岡営業所、北陸営業所、四国営業所、岡山営業所、鹿児島営業所、横浜神奈川事業所

国内生産4拠点

① 横浜磯子事業場

敷地面積：約233,100㎡



② 名古屋工場

敷地面積：約98,800㎡



③ 堺工場

敷地面積：約28,800㎡



④ 水島事業場

敷地面積：約110,000㎡



取締役および監査役

代表取締役社長	久野 貴久			
代表取締役	尾上 秀俊			
取締役	小林 新 佐藤 将祐	三枝 理人	岡野 良治	
取締役(社外)	山本 功	江藤 尚美	志済 聡子	
監査役(常勤)	大場 克仁	渡辺 信行		
監査役(社外)	草道 倫武	水口 啓子		



主要グループ会社(国内)

セッツ株式会社
日清商事株式会社
日清物流株式会社
株式会社NSP
大東力カオ株式会社
株式会社日清商会
株式会社マーケティングフォースジャパン
日清ファイナンス株式会社
株式会社ゴルフジョイ
製油パートナーズジャパン株式会社
株式会社ピエトロ
和弘食品株式会社
幸商事株式会社

主要グループ会社(海外)

上海日清油脂有限公司
日清奧利友(中国)投資有限公司
日清奧利友(上海)国際貿易有限公司
Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd.
Industrial Quimica Lasem, S.A.U.
T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd.
PT Indoagri Daitocacao
Intercontinental Specialty Fats (Shanghai) Co., Ltd.
Intercontinental Specialty Fats (Italy) S.r.l.
Nisshin Oillio America Inc.
IQL-USA Inc.
中糧日清(大連)有限公司
統清股份有限公司
張家港統清食品有限公司

(注) 1 本ページの情報は注記があるものを除き、2024年9月末現在のものです。
2 主要グループ会社は、持分法適用会社を含んでいます。

株式情報

株式の状況(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	77,670,000株
発行済株式の総数	32,576,803株(自己株式1,139,454株を除く)
株主数	40,428名

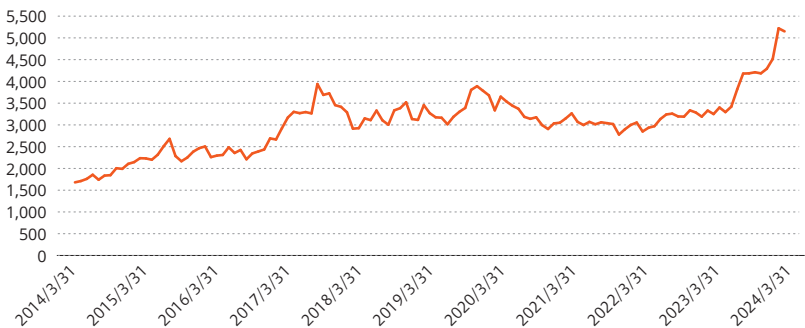
大株主(2024年3月31日現在)

	持株数 (千株)	出資比率 (%)
丸紅株式会社	5,200	15.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,407	13.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,647	8.13
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	624	1.92
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	477	1.47
キッコーマン株式会社	470	1.44
大成建設株式会社	462	1.42
損害保険ジャパン株式会社	353	1.08
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	347	1.07
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	334	1.03

(注) 1 当社は、自己株式1,139,454株を保有していますが、上記の株主から除いています。
2 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

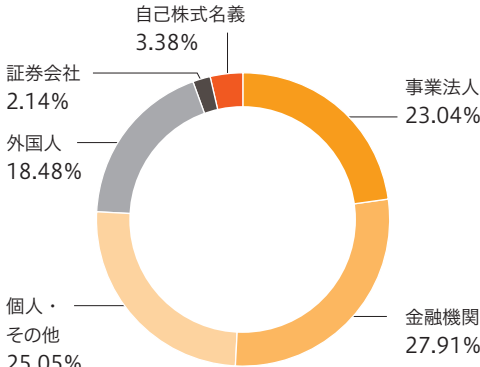
株価の推移

(円)



所有者別株式分布の状況

(2024年3月31日現在)



事業法人	310名／7,768,812株
金融機関	31名／9,411,069株
個人・その他	39,777名／8,444,309株
外国人	276名／6,229,614株
証券会社	33名／722,999株
自己株式名義	1名／1,139,454株

(注) 円グラフは株式数比率

インデックスへの組み入れ

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数(WIN)



第三者機関の認定



インデックス・第三者機関の認定等

<https://www.nisshin-oillio.com/company/sustainability/certification/>